

5 研究の成果

(1) 学習態度・学習習慣に関わること *全国学力・学習状況調査の「当てはまる」、「どちらとも言えはまる」と本校生徒との比較* 1・2年生は第1回は7月に実施

項目	実施月	H26卒業生	現3年生	現2年生	現1年生
友だちの前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか。	4月/7月	- 7.8	- 9.6	+ 1.0	+ 0.4
	12月		-13.3▲	+ 6.9	+ 0.4
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。	4月/7月	- 6.3	-12.3	+ 0.6	-15.1
	12月		- 4.2	- 2.9▲	- 7.4
家で、学校の授業の予習をしていますか。	4月/7月	- 7.4	-22.3	+31.8	+22.8
	12月		+37.4	+27.1▲	+27.2
家で、学校の授業の復習をしていますか。	4月/7月	- 8.6	-16.7	-15.6	-21.8
	12月		+10.0	-17.9▲	-15.6
将来の夢や目標を持っていますか。	4月/7月	- 7.4	-10.6	-21.6	+ 1.6
	12月		- 4.0	- 2.3	- 4.7▲
学校の授業時間以外に、平日、一日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。 *「2時間以上」の比較	4月/7月	- 1.4	-14.5	+ 2.4	-19.9
	12月		+ 6.7	- 1.6▲	- 7.3

(2) 生活体験に関すること

学級みんなで協力して頑張りをやり遂げてうれしかったことはありますか。	4月/7月	- 30.8	- 3.0	+ 2.9	+11.7
	12月		+ 3.8	+ 3.9	+11.0▲
難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか。	4月/7月	- 9.1	-12.3	+ 2.1	+14.1
	12月		+ 2.9	+11.5	+ 5.4▲

(3) 自己認識に関すること

自分にはよいところがあると思いますか。	4月/7月	- 17.4	-15.2	- 5.7	+ 2.8
	12月		+ 1.6	+ 2.5	+ 4.6
人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか。	4月/7月	- 16.4	-11.9	- 2.1	+ 1.6
	12月		- 3.0	+ 2.0	- 3.3▲

(4) 構成的グループエンカウンターアンケートから

		1回目	5回目	増減
思っていることを素直に発表することができた。	1年生	63.0	66.0	+ 3.0
	2年生	82.0	84.3	+ 2.3
	3年生	80.0	85.0	+ 5.0
友だちの意見を発見・理解できましたか。	1年生	65.0	65.0	0
	2年生	81.0	85.3	+ 4.3
	3年生	82.0	86.0	+ 4.0
仲間の良い面を発見・理解できましたか。	1年生	67.0	65.0	- 2.0▲
	2年生	79.0	83.3	+ 4.3
	3年生	82.0	85.0	+ 3.0
班員と協力できましたか。	1年生	69.0	70.0	+ 1.0
	2年生	85.7	86.0	+ 0.3
	3年生	85.0	88.0	+ 3.0
今日のグループワークは充実していましたか。	1年生	70.0	68.0	- 2.0▲
	2年生	84.3	84.7	+ 0.3
	3年生	75.0	80.0	+ 5.0

(5) 県学力調査の結果から（県の定着率を上回った項目数）

現学年	1年次	2年次
現3年生	41 / 49	22 / 48
現2年生	10 / 49	32 / 48
現1年生	29 / 48	—

*太文字が今年度の結果

6 今後の計画・展望

先進校の事例・実践を積極的に参考にして、研究指定校としての連続性や継続性を意識して研究活動を行いたい。今後は、以下のような課題に焦点化してさらに職員で共通実践を行いたい。

(1) 授業改善・学習指導に関して

- ・教科を越えて活用できる「学び合い」の有効な授業スタイルづくりのための具体的な視点を設定し、学力向上を図る。
- ・学習習慣や学習態度に関する指導の切り口を明らかにし、共通実践して学力向上を図る。
- ・主体的に学ぶ習慣や態度をはぐくむ指導の充実により学力向上を図る。

(2) 道徳教育に関して

- ・道徳の授業における学び合いの充実のための視点を焦点化する。
- ・行事等との関連を図った道徳指導をさらに充実させる。
- ・道徳の授業における評価方法の工夫・改善を図る。

(3) 特別活動に関して

- ・道徳教育との関連をさらに図り、常時活動も絡めて有機的に指導を充実させる。
- ・自治活動のきっかけとして、話し合い活動を意図的、継続的に設定する。

(3) 集団づくり研究部の取組

ア 話し合い活動

取組の実際（3年「卒業にあたって、地域に恩返しをしよう」の実践例）

(7) 事前の取組

- 11/19 計画委員会による議題の決定（議題を設定し、解決策を話し合わせた）
卒業するにあたって、自分たちができていないこと、後輩にもつなげていけるような活動はないか事前に出し合い、計画委員会で議題を決定していった。
- 11/27 めあて・柱の決定（学級会の流れの基本形を示した）
一人一人の意見が反映されることを目的とした話し合いになるように、計画委員会で、めあて・柱の設定をし、多くの意見が引き出されるよう工夫した。
- 12/ 1 話し合いの準備（進め方の練習時間配分と話し合いのイメージを持たせた）
話し合うことを整理したり、進行の仕方を確認したりした。話し合い活動のマニュアルに沿って、事前に話し合い活動の流れを確認した。

(1) 本時の学習

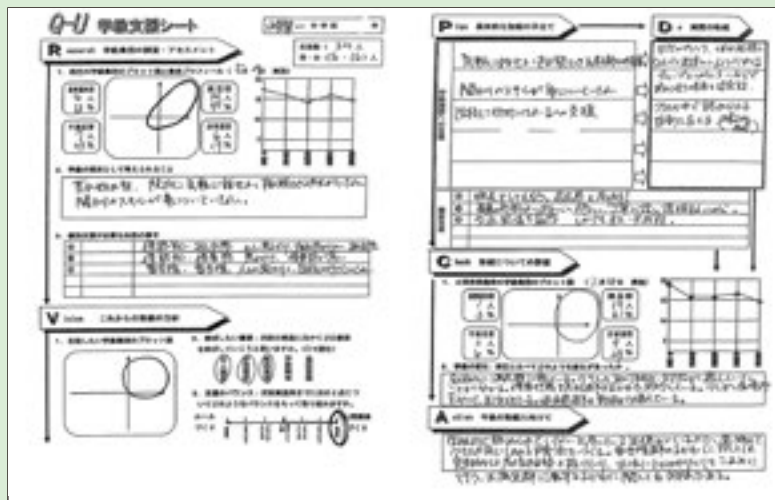


イ hyper-QU

* 結果を受けての具体的実践

学級支援シートの作成

5月と11月にhyper-QUを実施した。各クラスや一人一人の分析を行い、全職員で生徒理解を図った。その後、【学級支援シート】をクラス毎に作成し、今後の指導に当たった。全学級分の【学級支援シート】を全職員に配付し、特に《要支援群・不満足群》の子どもの声かけや授業中の支援の仕方に配慮しシートの活用を行った。



ウ 構成的グループエンカウンター

週に2日間7校時（25分間）を設定し、エンカウンターの時間を設けた。部会からエクササイズについて会議で説明し（実践・口頭で説明）、準備をした。それぞれのエクササイズで、ルール決めをし、活動の最初に周知した。そのことで、ねらいを明確にした活動ができた。

1	7月 人権月間 係活動が機能し、友人関係も	コミュニケーション (他者理解) (交流)	「無人島脱出！」 無人島を脱出するために必要な道具を、3つ選ぶために話し合う。
2	深まる時期	信頼感 (思いやり) (所属感)	「うちのクラス最高！」 1学期のクラスを見つめ直し、クラスで感じたことを出し合い、共有する。
3	9月 夏休み明け 心身の成長が目立つと共に、 集団相互で受け合う時期	感受性 (創造性) (総合演習)	「共同絵画」 非言語的活動で、コミュニケーションし合い、色ペンを使ってまとまりのある一枚の絵を完成させる。
4	10月 文化祭直前 創造性、企画性が発揮され、 集団としてまとまる時期	自己理解 (自己主張) (自主性)	「アピール大作戦」 文化祭当日に頑張ろうと思うこと、文化祭の準備で頑張ってきたので見てほしいところなどを所定の用紙に記入させ、文化祭当日に掲示する。
5	11月 学校行事が一段落 個人の利害と集団の利害	役割意識 (企画性) (意欲)	「連想ゲーム」 ある言葉をもとに連想するものが個性によって異なることを理解し、共感的人間関係を深める。